

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果（公表）



公表： 2024 年 2 月 15 日

事業所名 放課後等デイサービス ウォルト

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	3	2	・利用人数が多い時は小グループに分け、児童が伸び伸びと体を動かせるよう工夫しています。	・利用児童が一コマに集中しないよう調整したり、活動プログラムの内容を工夫します。
	2	職員の配置数は適切である	4	1		・基準に準ずる配置を行っています。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	3	2	・段差がなく車いすでも入室可能です。また室内のドアは軽く、弱い力でも開閉がしやすいです。	
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画している	5		・現状に満足せず、常に業務改善の意識を持ちます。	
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	5			・アンケート内容は全職員に周知し、今後の改善点を細かに話し合い改善に努めます。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	5			・自己評価表はホームページにて公開し、施設内に掲示しています。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	2	3		・外部評価は行えていないため、実施に向けて検討します。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	5		・県市主催の研修会への参加や伝達講習、オンライン研修などを活用しています。 ・研修の年間計画を作成し、定期的に開催しています。	
適切な 支援の 提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	5		・保護者の意向や困りごとの聞き取りを行い、計画書を作成し、保護者へ説明を行っています。	
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	4	1	・利用開始時に行っています。	
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	5		・月ごとに全職員でテーマを決めています。 ・また児童の要望や児童に必要な運動を職員間で共有しプログラム立案に繋げています。	
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	5		・月間予定でテーマを決め、週ごとに担当職員を変更し、プログラムが固定化しないよう工夫しています。	

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標	
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	5		・長期休暇の際は個別療育や振替利用を促し、保護者のニーズの聞き取りを行うことで、細かく課題を設定し支援しています。		
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	5				
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	4	1	・職員間でプログラム内容の確認、周知はSNSツールを用いて共有しています。	・プログラム内容は共有できているが、役割分担などの確認が十分でない時があるため、ミーティング内に確認時間を設けます。	
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	4	1	・支援終了後は送迎や記録の打ち込みで振り返りの時間を取れていないが、緊急性のあること以外は翌朝のミーティングにて補っています。	・緊急要件に関しては、支援終了後早急に全員で打ち合わせを行います。 ・また、翌日には職員会議を行い、詳細を業務日誌に記載します。	
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	5				
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	5				
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ合わせて支援を行っている	5		・基本的な部分を把握しながらも、当事業所の特色を取り入れて支援を行っています。		
	関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	5		・現場職員が会議に参加することが難しい場合は、事前に伝えたいことや活動の様子を児発管と共有しています。	・現場職員が参加できるよう、十分な人数配置を行います。
		21	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っている	5		・送迎前には必ず下校時間の確認（学校・保護者）を行っています。	
22		医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	—	—		該当なし	
23		就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	5		・同事業所内の児発利用児童の場合は、年度末より職員の交換を行い、実際の児童や利用時の様子を確認しながら、スムーズな移行が行えるよう情報共有を行っています。	・必要に応じて利用児童が通っている園へ連絡を取ったりと情報の共有を行います。	
24		学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	—	—		該当児童なし	

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	4	1	・府内大橋こどもクリニックを訪問し、療育場面の見学や情報共有を行わせてもらっています。	
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	1	4		・改善を検討いたします。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	1	4		・改善を検討いたします。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	5		・送迎時やLINEなどを用いて、児童の情報共有を行っています。	・保護者が相談しやすくなるよう、業務的な連絡以外にもコミュニケーションを図ります。
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	1	4		・外部講師を招いての実施を検討します。
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	5		・契約時に必ず説明を行っています。	
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	5		・保護者から相談があった場合は、必要に応じて事業所内相談も活用しています。	・相談をしやすい関係性作りを日頃から心がけます。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	1	4		・改善を検討いたします。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	5			・相談や申し入れ等には、速やかに対応するよう努めます。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	3	2	・毎日のSNSへの投稿やウォルトだよりを発行し、ウォルトの療育内容の発信や自宅での自主練習なども提案しています。	・定期的に発行します。
	35	個人情報に十分注意している	4	1		・SNSへの投稿や保護者と児童の様子を共有するために、スマートフォンでの撮影を適宜行っています。取り扱いには十分気を付けます。
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	5			
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	1	4		・地域住民を招待できるイベントの企画を検討していきます。
非常時等の	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	4	1		・保護者へは契約時に必ず説明を行っています。職員間でも周知徹底していきます。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	4	1	・定期的に避難訓練を実施し、関係機関への報告を行っています。	

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
対応	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	5			<ul style="list-style-type: none"> ・外部の研修への参加や事業所内研修を実施しています。 ・虐待防止委員会を設置し、ケース会議等も行っています。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	3	2	<ul style="list-style-type: none"> ・研修などで周知しています。 	<ul style="list-style-type: none"> ・該当するケースはないが、研修などで職員の知識研鑽に努めます。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	2	3		<ul style="list-style-type: none"> ・食事、おやつの提供はありませんが、開業時に医師による対応研修を行っています。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	4	1	<ul style="list-style-type: none"> ・ヒヤリハット発生後は直ちに報告書を作成し、朝礼にて対策を踏まえた報告を行い、職員全員へ回覧し再発防止に努めています。 	